

竹の塚中学校・湊江中学校 統合地域協議会ニュース

創刊号
R8.8月発行

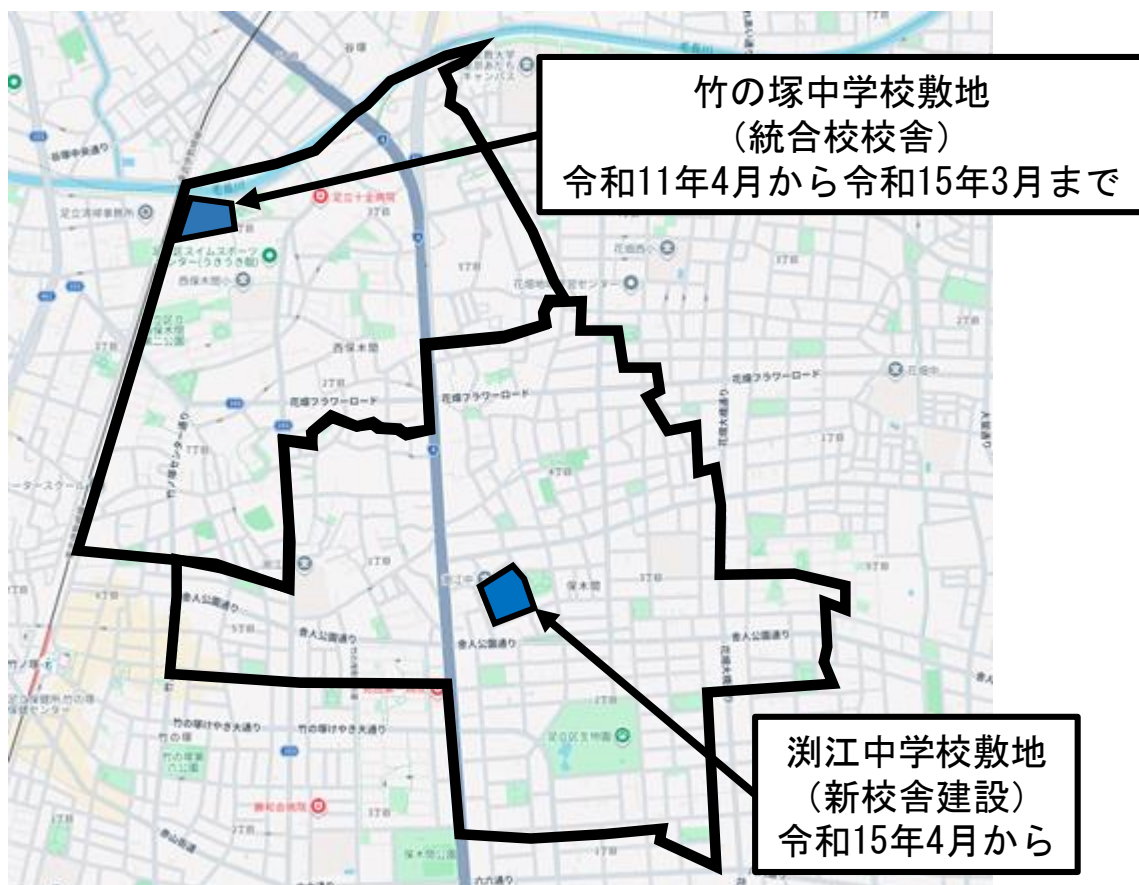
発行・編集：統合地域協議会事務局

竹の塚中学校と湊江中学校の統合を検討しております

年少人口の減少や学校施設の老朽化などの課題を踏まえ、将来にわたって、子どもの教育環境を充実・向上させるため、竹の塚中学校と湊江中学校の統合を検討しています。

1 統合に向けた現行計画（案）【第2版】の概要

- (1) 現在の湊江中学校敷地に新校舎を整備します。
- (2) 新校舎完成までの期間は、現在の竹の塚中学校校舎を統合校の校舎とし、両校の生徒が一緒に過ごします。
- (3) 竹の塚中学校校舎は、必要に応じて増築など施設整備を行います。
- (4) 通学区域は、両校の区域を合わせた範囲となります。



同協議会の委員は、両校の「開かれた学校づくり協議会」から推薦された学校や地域の方々と構成します。学校や地域の思いを大切にしながら、学校の統合や新しい学校づくりに関すること（校名・校章・校歌など）について協議・検討していきます。

なお、協議会の開催に先立ち、中村教育長から委員20名（両校より各10名ずつ）に委嘱状の交付（当日欠席の1名には委嘱状を郵送）を行いました。

第1回協議会の内容

開催日時等

7月28日（火）19時から
 渕江中学校「1階会議室」

内 容

① 役員の選任

役 職	氏 名（敬省略）
会長	山本 輝夫（渕江中学校開かれた学校づくり協議会会長）
会長職務代理	國井 幹雄（竹の塚中学校開かれた学校づくり協議会会長）
副会長	小山 純一（渕江中学校開かれた学校づくり協議会副会長） 泉澤 敏雄（竹の塚中学校開かれた学校づくり協議会副会長）



② 統合に向けた計画(案)について【現行は第2版】

委員から様々なご意見が出され、次回の協議会でも引き続き意見交換をしていくこととなりました。

また、令和11年度に竹の塚中学校が60周年、渕江中学校が70周年を迎えるため、周年後に統合するスケジュール（案）を次回の協議会にて検討することとなりました。



[委員からのご意見]

- ・ 将来の子どもたちのために、委員間で建設的に意見を出し合っていきたい。
- ・ 小規模校として残る選択肢もあると思う。
- ・ 両校の違いはあるが、話し合って進めていくべきではないか。
- ・ 両校の雰囲気を選んで入学する生徒はいる。
- ・ 統合によってお互いの伝統が無くなってしまうのではと思う。
- ・ 両校のカラーが違うため、相容れないのではないか。
- ・ 色々な生徒が混ざって学校を作っていくことが重要。
- ・ 統合するかしないかは、大人が責任を持って決めていく問題。
- ・ 両校の関係者が、地域として新しい学校を作っていく、リスタートするくらいの意識で進めていくことが重要。

統合に向けたスケジュール【現行計画（案）】

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
統合地域協議会で協議 (統合や新たな校名・校章・校歌など)							
			令和11年4月 統合 (竹の塚中学校校舎で学校生活)				
			新校舎へ引っ越し				
			洵江中学校校舎の建て替え・新校開校準備				令和15年 4月開校

※ 下線は統合が決定した場合の予定（案）です

4

今後の動き

統合地域協議会ニュース

統合地域協議会の内容や、教育委員会による検討事項などをお知らせいたします。

WEBで統合地域協議会
ニュースを閲覧できます



足立区の小・中学校適正配置の取り組みはこちら



協議会の傍聴（予約不要）

ご希望の方は当日、協議会開始
10分前までに会場へお越しください（傍聴人による発言や写真撮影、録音等はできません）。

※ 会場スペースの都合上、傍聴希望者が多数の場合は、抽選となります。

次回開催日時

9月7日（月）18時30分開始
会場：竹の塚中学校「1階会議室」

ニュースの発行・問い合わせ

統合地域協議会事務局（足立区教育委員会事務局 学校適正配置担当課）
電話：03-3880-5426（直通）

令和8年1月から6月にかけて、竹の塚地域の町会・自治会連合会や、竹の塚中学校・湊江中学校の開かれた学校づくり協議会、両校の保護者説明会でいただいた主なご質問やご意見を掲載いたします。

Q. 竹の塚中学校と湊江中学校の統合は決まりですか？

A. 区が策定する計画（案）が統合地域協議会で承認されて決定となります。

Q. 小規模校の良さがあります。小規模校は残すべきです。

A. 小規模校にはメリットもありますが、子どもが切磋琢磨し社会性を身に付けるには、ある程度の人数がいて適正な規模の学校がより重要と考えています。

Q. 両校の校風が異なります。
良さが無くなってしまうと思います。

A. 両校の良さをどのように残せるかについては、統合地域協議会や学校間でもよく検討していきたいと考えています。区も事務局として入り、伝統を大切につないでいけるよう支援していきます。

Q. 学校が減ると避難所が無くなり困ります。

A. どういった対策ができるか、引き続き災害対策課と情報共有して検討します。

Q. 仮校舎期間は通学距離が遠くなる地域が出てきます。スクールバスや自転車通学の導入は検討していますか？

A. スクールバスについては、望ましい通学距離はあくまでも目安の距離のため、また、自転車通学については区内の自転車事故が多く、登下校時の安全性の確保ができないため、導入は考えていません。

Q. 学区域の隣接校に優先入学（必ず入学）できる制度はありますか？

A. 優先入学制度はありませんが、統合などを理由に隣接校を希望した場合は、学区域内にお住いの児童・生徒に次いで取り扱うことができます。